



平成30年度の実績に係る キャンパス経営力評価ヒアリング

小白川キャンパス

小白川キャンパス長 玉手英利

年度目標と経営課題

小白川キャンパス

人文社会科学部、地域教育文化学部、理学部、学士課程基盤教育機構
情報ネットワークセンター、保健管理センターなど

【組織に関する課題】

- ・教育、研究、教育組織運営（人事含む）は学部長・機構長が所掌
 - ・キャンパス長は財務・安全衛生管理・教員評価を所掌
 - ・中期目標・中期計画は、キャンパスではなく部局単位で設定
 - ・キャンパス長は学部長の上司ではないため、PDCAの各段階でキャンパス長と部局長の調整が必要
- 年度目標 2「キャンパス執行体制の強化」

【機能に関する課題】

- ・文系学部や全学教育（基盤教育）は収益性・採算性が低い
- ・有償化できない社会的サービスが多く、教員エフォートを圧迫
- ・学生の多様化に対応した教育サービスが必要
- ・施設・設備・立地条件の制約

→年度目標 1「外部資金」

→年度目標 3「明るく楽しいキャンパス」

外部資金

年度目標1

- ①外部資金の12%増と外部資金源の多様化
- ②外部資金や学外資源を活用した社会連携事業への重点支援（5件以上）

達成状況1

- ①外部資金は10%増、大学祭での企業ブース設置など新たな取組を実施
- ②外部資金や学外資源を活用した社会連携事業7件を支援

【外部資金増加の戦略】

◆意識改革（正課以外の社会的サービスは外部資金で行う意識を徹底）

- 「八峰祭 西洋なしフェスティバル」 [上山市](#)（物品、人員）
- 「山大附属博物館絵葉書展 山形の祈り」 [最上義光歴史館](#)（人員、物品、施設）
- 「山形算額勝負～湯殿山神社を目指せ～」 [荘内銀行](#)（資金）、[湯殿山神社](#)（資金、人員、施設）
- 「ひらめき☆ときめきサイエンス」3件 [学術振興会](#)（資金）
- 児童・生徒を対象とした各種科学普及活動 [公益財団法人](#)（資金）
- 「学生による地元企業の魅力発信」など地域活性化事業3件 [自治体](#)（資金）

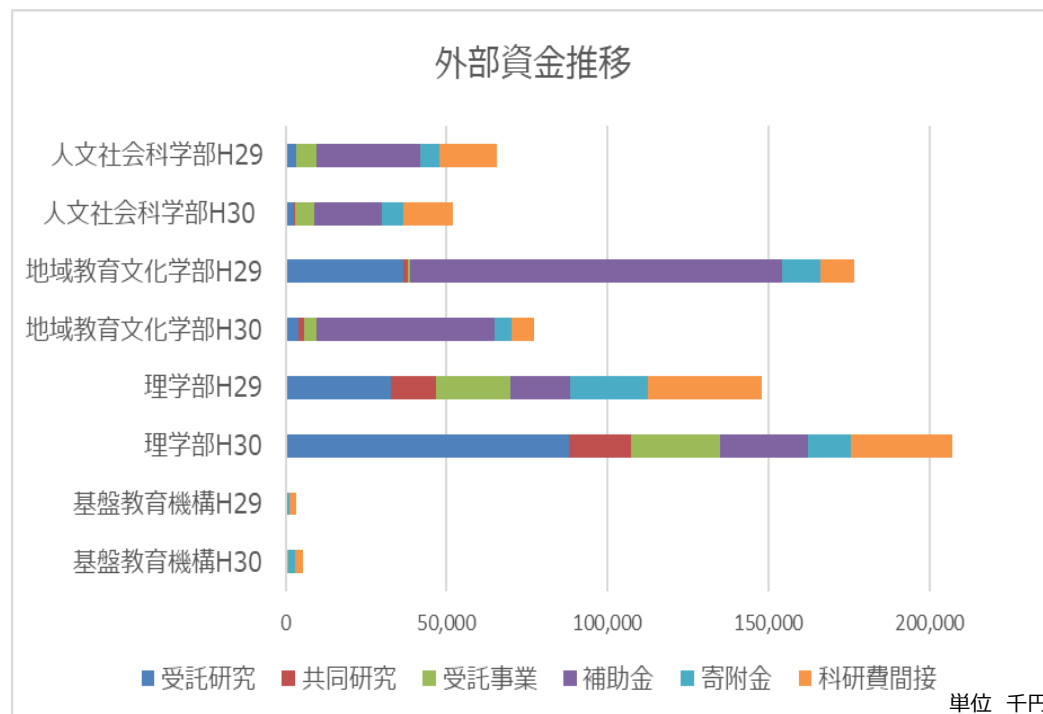
◆受け皿の拡大（外部資金につながるテーマ、ヒト、モノ、機会を発掘）

- ・企業人のリカレント教育：[きらやか銀行](#) きらやかマネジメントスクール第3期を開始
- ・観光産業人材育成：[日本観光振興協会](#) 寄付講座（助成先 [山形大](#)、[京都大](#)、[明治大](#)、[首都大学東京](#)、[一橋大学](#)、[早稲田大](#)）
- ・大学祭の[地域企業](#)ブース10社：人が集まる大学イベントを新たな収益機会として活用
- ・ベコちゃんバスの運行データ解析：[山形市](#)、[山形交通](#)

年度目標 1 参考データ

【外部資金の状況】

- ・科研費以外は分野による違いが大きい
- ・人文社会科学部は科研費採択率が高い
- ・大型科研費は基盤Aが2件、基盤Bが6件、新規採択
- ・補助金の減少に対して、受託研究・受託事業が伸び悩み



【安定した資金源としての同窓会・保護者会】

- ・同窓会の援助：外国語自習室をFusuma Language Loungeとして改装
- ・保護者会の援助：トイレにシートクリーナー、音姫（擬音装置）を設置、TOEIC受験料の補助等



キャンパス執行体制の強化

年度目標2

- ①キャンパス執行部の組織化と重点的な改善・機能強化
- ②データサイエンス関連事業(4件以上)、③国際化事業(3件以上)
- ④業務改善と経費節減

達成状況2

- ①副キャンパス長を設けて執行体制を強化。高大連携では山形東、米沢興譲館、東桜学館の3校と覚書を締結
- ②データサイエンス推進室を設置し、機械学習実習、キックオフミーティング、講演会、データサイエンスCaféなど4件16回を実施 →31年度共通政策課題で採択
- ③留学生懇談会、留学生とチューターの合同研修旅行、PRグッズの作成など、19件の国際化事業を実施
- ④3学部事務室を廃止して業務を一元化、光熱水費は前年度比で減少、会議回数・時間を減少

【業務改善と経費節減】

- ・小白川3学部の事務室（各学部で事務室長、総務担当職員数名及び非常勤職員数名を配置）を廃止し、小白川事務部内で再配置
- ・教員への集配業務をインフォメーションセンターに集約化
- ・ペーパーレス化を更に進めて、一般利用のプリンターを一部有料化

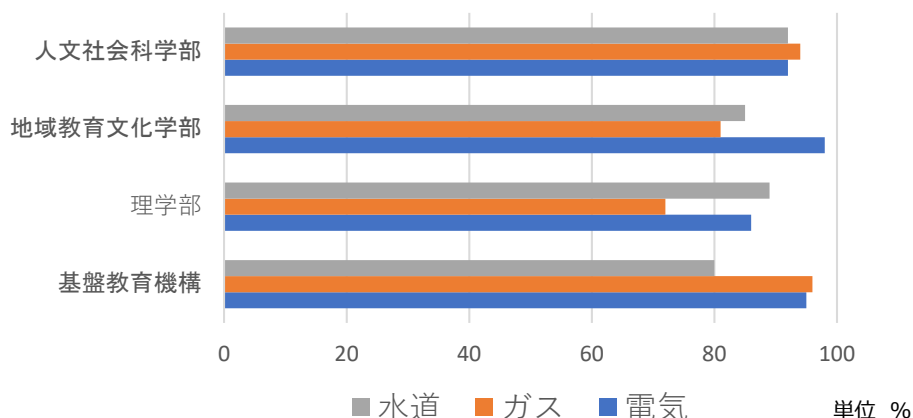
年度目標 2 参考データ

【光熱水費の状況】

・受益者負担、施設の利用管理の見直し、照明のLED化、冷暖房設備の切り替え（ガスから電気へ）を推進した部局では大きな削減効果

・29年度比で約11.3%、金額では3587万円、支出を削減。

30年度光熱水費増減率（対27-29年度平均値）



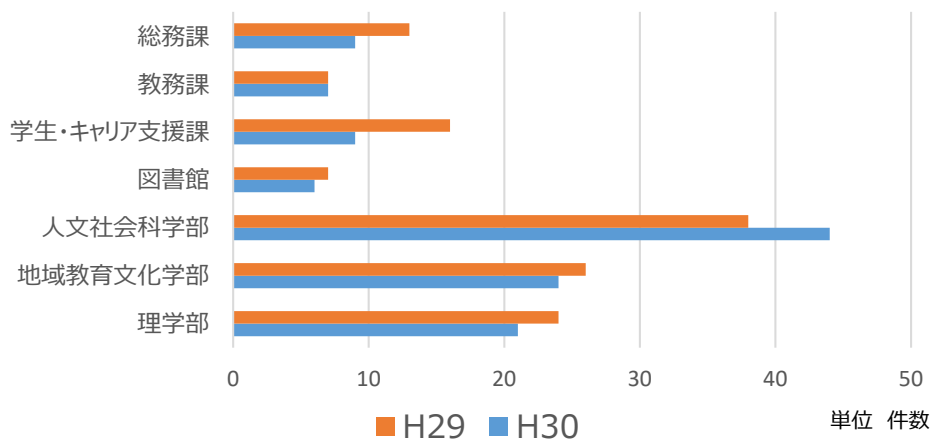
【会議数・会議時間の削減】

・学部事務室の廃止を契機として、会議・委員会を全面的に見直し、10委員会・会議を廃止（学部・事務部）

・電子的資料配布、会議回数の削減、会議時間30分以内とする業務改善（基盤教育機構）

・館長打合せ会議の開催を、毎週から隔週へ（図書館）

会議・委員会等削減状況



「明るく楽しいキャンパス」を目指した取組

年度目標3

- ①学生ニーズを把握する懇談会等の実施と環境整備（3件以上）
- ②学生と職員の心身の健康に関わる部局間の連携体制の強化
- ③キャンパス内施設を利用した学生主催イベント（3件以上）

達成状況3

- ①学生懇談会5件、学生参加型FD1件を実施し、授業や就学環境を改善
- ②保健管理センター、学生課、学部が緊密に連携して事故防止
- ③学生主催イベント4件を実施

【学生の学修ニーズの把握】

・学部・学士課程基盤教育機構で、学生や主担当教員を対象として、カリキュラムや学習環境、施設等に関する意見を聴取し、教室・設備の修繕や授業改善を行った。

【学生主催イベントの公募】

・**小白川キャンパスは星空の映画館**（映画監督、山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局長らを招いた屋外上映会）、**シンデレラ・フランス**（ゆるキャラコンテスト）、**舟形マルシェ**（学生が地元農家で育てた野菜を販売）、**山形レボリューション地域共創シンポジウム**（中高生も参加して学生による地域おこしをテーマとした交流）

【多様な学生への配慮】

・障がい学生支援センターで、発達障がい学生対象就活準備講座、障がい学生支援技術養成講座などを実施
・学生・キャリア支援課が企画して、サークル主導の交流会を開催。異文化交流サークル「IF」、料理サークル「CUCINA」及び留学生が連携して、公民館を利用してイスラム料理を体験調理。